令和8年度全国学力・学習状況調査の結果について

市川市教育委員会
学校教育部指導課
令和８年１１月５日

１ 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２ 調査の内容

①児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

〔小学校：国語、算数　　中学校：国語、数学、英語〕

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項

イ 質問調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

②学校に対する質問調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査

３ 調査を実施した学校・児童生徒数（調査日：令和8年4月23日）

	対象学校数	学校数（実施率）	児童生徒数
小学校	39校※1	39校（100%）	3,593人
中学校	16校※1	14校（87.5%）※2	2,391人

※1　塩浜学園（前期課程・後期課程）を含む。
※2　学校行事のため、後日実施となった2校は含まない。この場合の調査の結果は、全体の集計からは除外されるが、採点の上、教育委員会・学校に提供している。

４ 市川市としての分析・解釈の方向性

○平均正答率のみに捕らわれることなく、箱ひげ図などにより多面的に分析・解釈

○児童生徒質問及び学校質問は、学力との間に一定の関係(※)がみられる項目を抜粋し、分析・解釈　　(※)相関係数の絶対値が0.2以上であることを目安

○千葉県のデータは、千葉市を含む

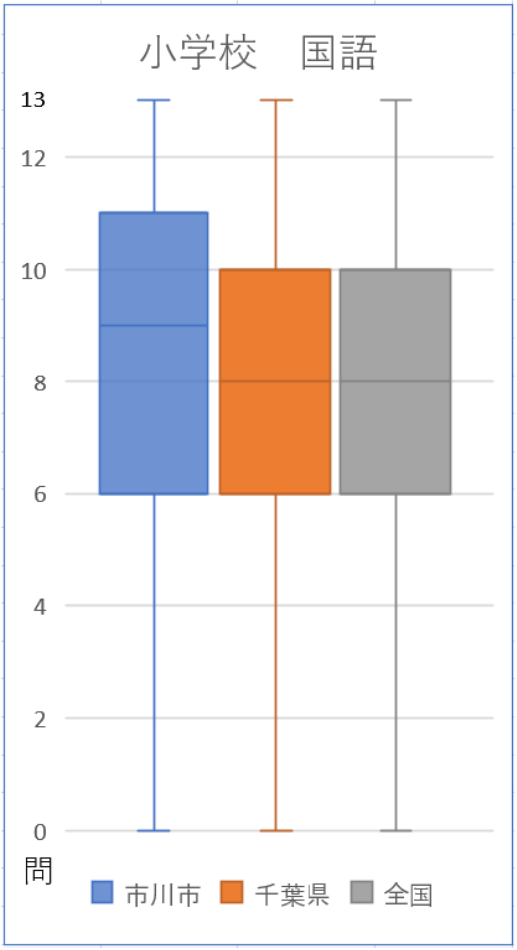
5 小学校【国語】に関する調査結果 ※各レーダーの数値は、全国の平均正答率を100とした場合の相対値です。

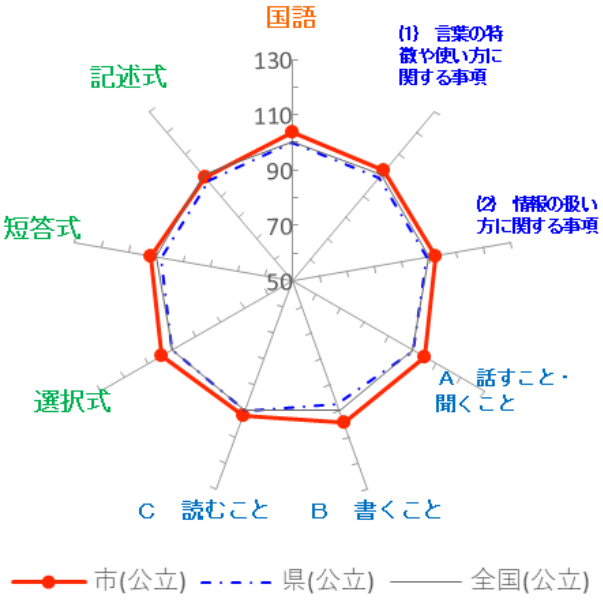
【平均正答率】

市川市	千葉県	全国
63	61	60.9

※平均正答率は、文部科学省の発表に基づき、全国は小数第1位まで、千葉県及び市川市は小数点以下を四捨五入した結果を示しています。

【正答数の分布】





・全体としては、全国平均を上回る結果となりました。
・正答数の分布は、全国や県と比較して上位層が多い結果となりました。
・「知識及び技能」（レーダーチャートの（1）（2）にあたる）、「思考力、判断力、表現力等」（レーダーチャートのA、B、Cにあたる）は、全国平均を上回りました。
・選択式、短答式の問題は全国平均を上回っていますが、記述式の問題は、全国平均を若干下回りました。

【児童質問調査】

<学習に対する興味・関心や授業の理解度等>

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合（%）

小学校 国語	市川市	千葉県	全国
国語の勉強は得意ですか	59.6	60.1	60.4
国語の授業の内容はよく分かりますか	78.8	81.2	81.5

「国語の勉強は得意ですか」「授業の内容はよく分かりますか」に対して肯定的な回答をした市川市の児童の割合は全国及び県平均を下回りました。授業つくりのポイントとしては、①言葉による見方・考え方を働かせること、②言語活動を適切に位置付けること、③児童が学びを実感できることが大切です。

<授業の進め方等>

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合（%）

小学校 国語	市川市	千葉県	全国
5年生までに受けた授業では、国語の授業で、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていましたか	77.0	79.0	80.7
5年生までに受けた授業では、国語の授業で、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていましたか	74.9	76.9	78.3

考えが伝わるよう工夫して文章に書き表すためには、引用する目的を明確にした上で、本や文章などから必要な語句や文を抜き出して書くことが重要です。また、文章を読んで考えをまとめるためには、文章を読んで理解したことを自分の経験と結び付けることができるように指導することが大切です。

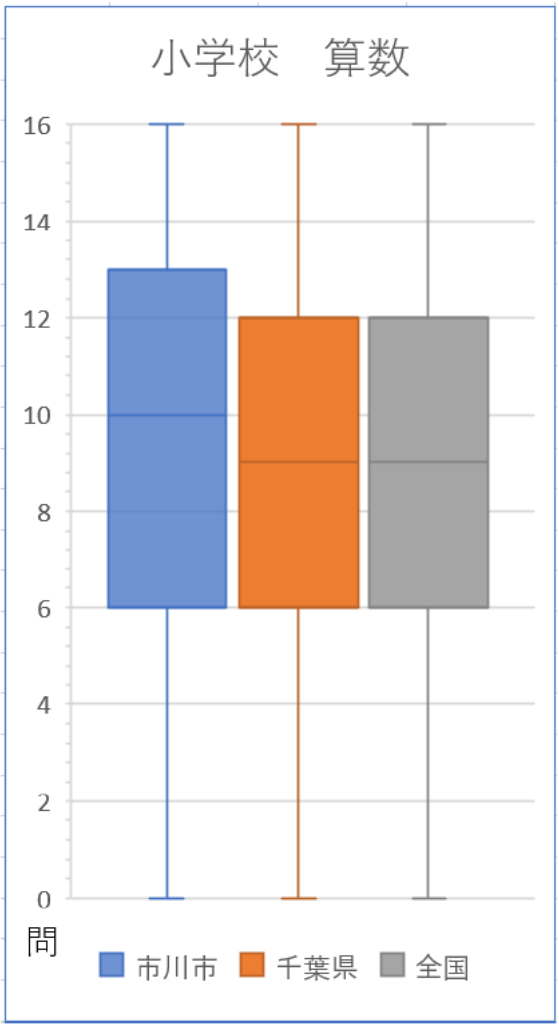
6 小学校【算数】に関する調査結果 ※各レーダーの数値は、全国の平均正答率を100とした場合の相対値です。

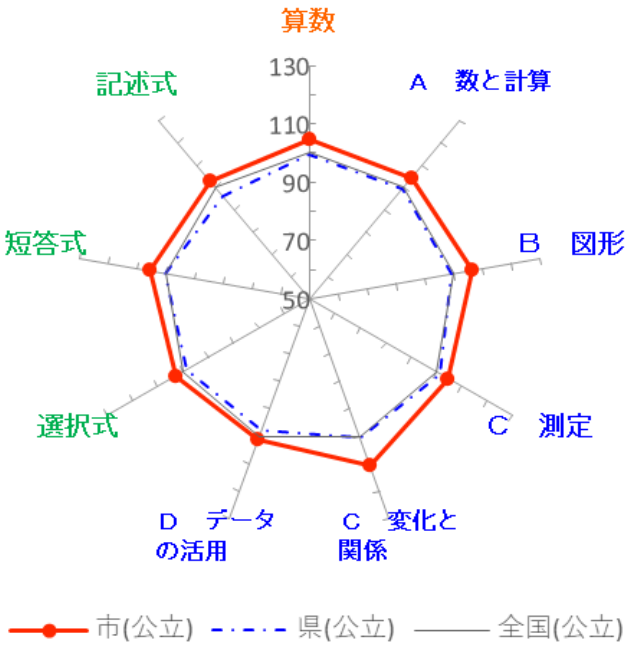
【平均正答率】

市川市	千葉県	全国
59	56	56.4

※平均正答率は、文部科学省の発表に基づき、全国は小数第1位まで、千葉県及び市川市は小数点以下を四捨五入した結果を示しています。

【正答数の分布】





・全体としては、全国平均を上回る結果となりました。
・正答数の分布は、全国や県と比較して上位層が多い結果となりました。
・「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の5領域で、全国平均を上回りました。
・記述式、短答式、選択式の問題全てで、全国平均を上回りました。

【児童質問調査】

<学習に対する興味・関心や授業の理解度等>

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合（%）

小学校　算数	市川市	千葉県	全国
算数の勉強は好きですか	55.2	55.2	57.6
算数の授業恵学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	89.5	90.0	91.0

「算数の勉強は好きですか」について肯定的な回答をした市川市の児童の割合は、全国平均を下回りました。学習内容と日常生活と結びつけることや、児童に問いを持たせて対話や比較検討をすることを通して、「分かった」「できた」という成功体験を積み重ねることが、新たな課題に取り組む意欲につながっていきます。

<授業の進め方等>

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合（%）

小学校　算数	市川市	千葉県	全国
5年生までに受けた授業では、算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか	78.5	79.7	81.7
5年生までに受けた授業では、算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか	57.3	59.6	63.0

「あきらめずにいろいろな方法を考えましたか」「どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか」について肯定的な回答をした市川市の児童の割合は、全国平均を下回りました。1つの事象を多面的に捉え、他者に説明する活動は、様々な考えに触れることができ、深い学びにつながっていきます。そのために、複数の解き方を考えたり、図、式、言葉を使って説明したりする場面を設定することが大切です。

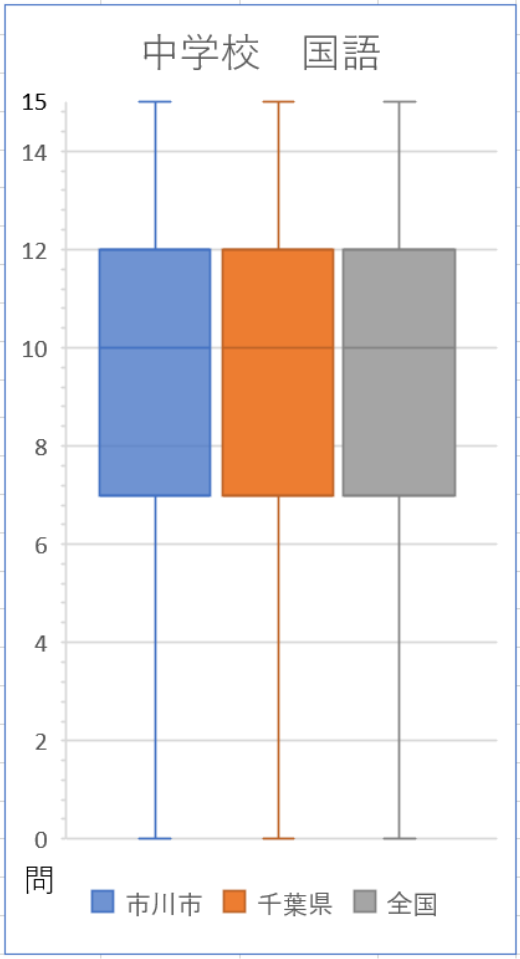
7 中学校【国語】に関する調査結果 ※各レーダーの数値は、全国の平均正答率を100とした場合の相対値です。

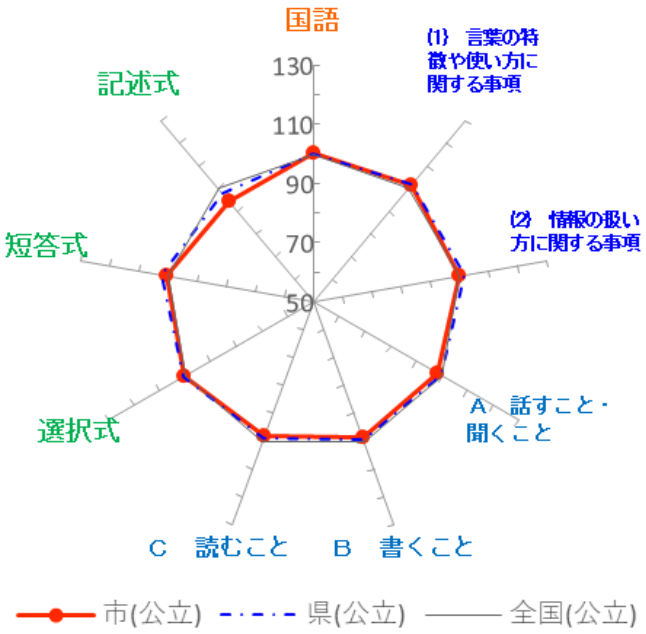
【平均正答率】

市川市	千葉県	全国
64	64	63.9

※平均正答率は、文部科学省の発表に基づき、全国は小数第1位まで、千葉県及び市川市は小数点以下を四捨五入した結果を示しています。

【正答数の分布】





・全体としては、全国平均と同等の結果となりました。
・正答数の分布は、全国や県と同等の結果となりました。
・「知識及び技能」（レーダーチャートの（1）（2）にあたる）は、全国平均を上回りました。
・「思考力、判断力、表現力等」（レーダーチャートのA、B、Cにあたる）・選択式、短答式の問題は全国平均を若干下回りました。
・選択式、短答式の問題は全国平均を上回りましたが、記述式の問題は、全国平均を下回りました。

【生徒質問調査】

＜学習に対する興味・関心や授業の理解度等＞

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合（%）

中学校　国語	市川市	千葉県	全国
国語の勉強は得意ですか	46.9	48.6	51.6
国語の授業の内容はよく分かりますか	70.9	74.9	76.8

「国語の勉強は得意ですか」「授業の内容はよく分かりますか」に対して肯定的な回答をした市川市の生徒の割合は、全国及び県平均を約5ポイント下回りました。授業つくりのポイントとしては、①育成する資質・能力を明確にすること、②言語活動を適切に位置付けること、③生徒が学びを実感できることが大切です。

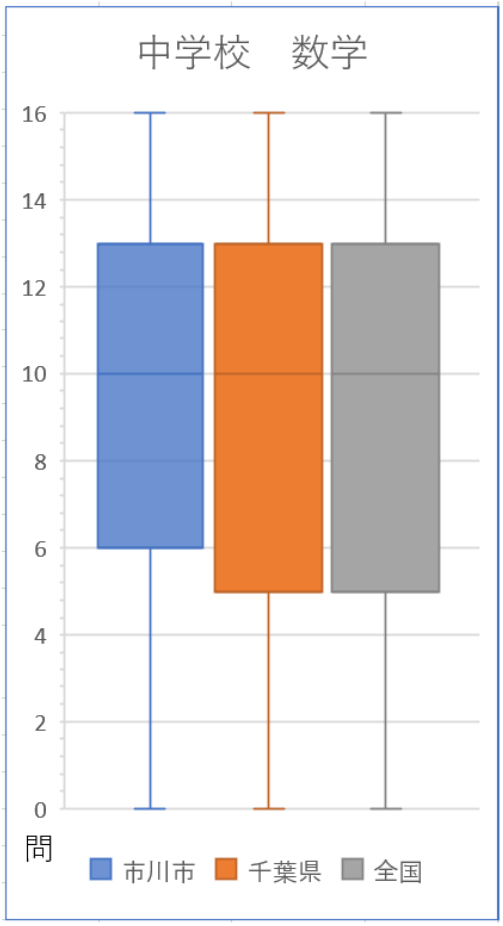
8 中学校【数学】に関する調査結果 ※各レーダーの数値は、全国の平均正答率を100とした場合の相対値です。

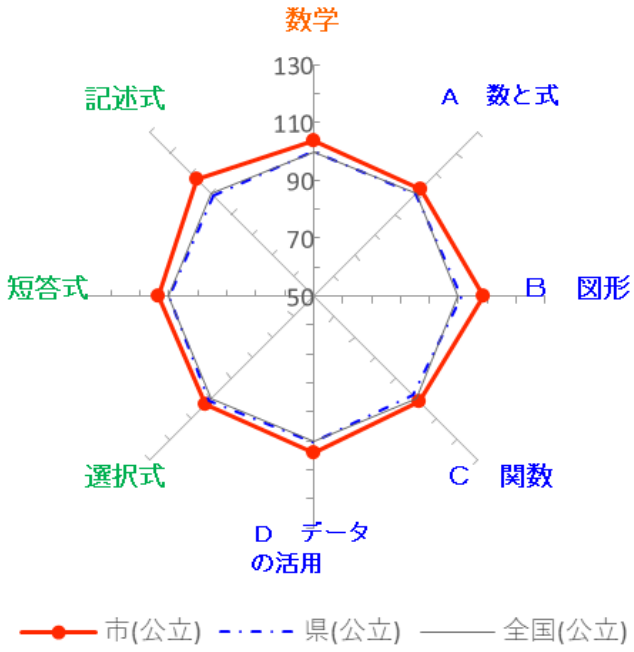
【平均正答率】

市川市	千葉県	全国
59	57	57.9

※平均正答率は、文部科学省の発表に基づき、全国は小数第1位まで、千葉県及び市川市は小数点以下を四捨五入した結果を示しています。

【正答数の分布】





・全体としては、全国平均を上回る結果となりました。
・正答数の分布は、全国や県と比較して、点数が高い値に集中しています。
・「数と式」「図形」「関数」「データの活用」の4領域で全国平均を上回りました。
・記述式、短答式、選択式の問題全てで、全国平均を上回りました。

【生徒質問調査】

<学習に対する興味・関心や授業の理解度等>

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合（%）

中学校 数学	市川市	千葉県	全国
数学の勉強は得意ですか	51.0	48.9	48.5
数学の授業の内容はよく分かりますか	71.1	72.8	74.2

「数学の勉強は得意ですか」という質問に対して肯定的な回答をした市川市の生徒の割合は、全国及び県平均を上回ったものの、「授業の内容がよく分かりますか」については、全国及び県平均を下回りました。身近な事象を授業に取り入れつつ、「分かる」から「解ける」といった成功体験を増やすことが、理解を深めることや数学の有用性に気付くことへつながっていきます。

<授業の進め方等>

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合（%）

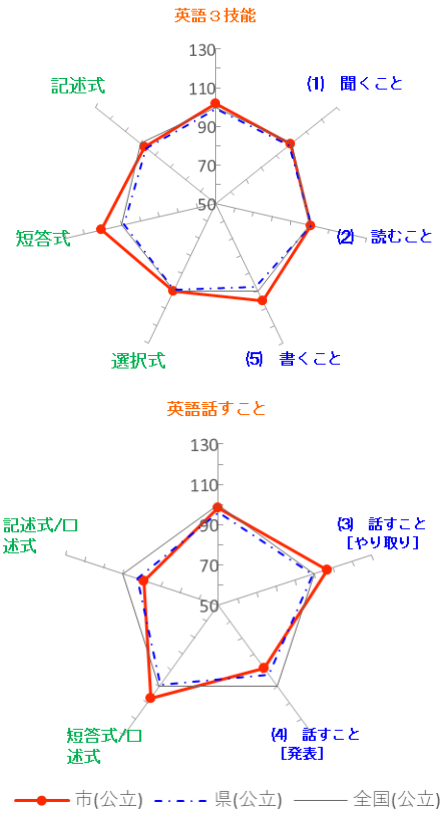
中学校 数学	市川市	千葉県	全国
1、2年生のときに受けた授業では、数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか	75.7	77.2	77.8
1、2年生のときに受けた授業では、数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか	57.3	58.0	60.4

「あきらめずにいろいろな方法を考えましたか」「説明する活動をよく行っていましたか」について肯定的な回答をした市川市の生徒の割合は、全国及び県平均を下回りました。1つの解き方だけでなく、複数の解き方を考え、比較検討していく中で、数学への理解が深まります。また、説明する活動を通して、事象を数理的に捉え、筋道立てて倫理的に考える力が身についていきます。

9 中学校【英語】に関する調査結果 ※各レーダーの数値は、全国の平均正答率を100とした場合の相対値です。

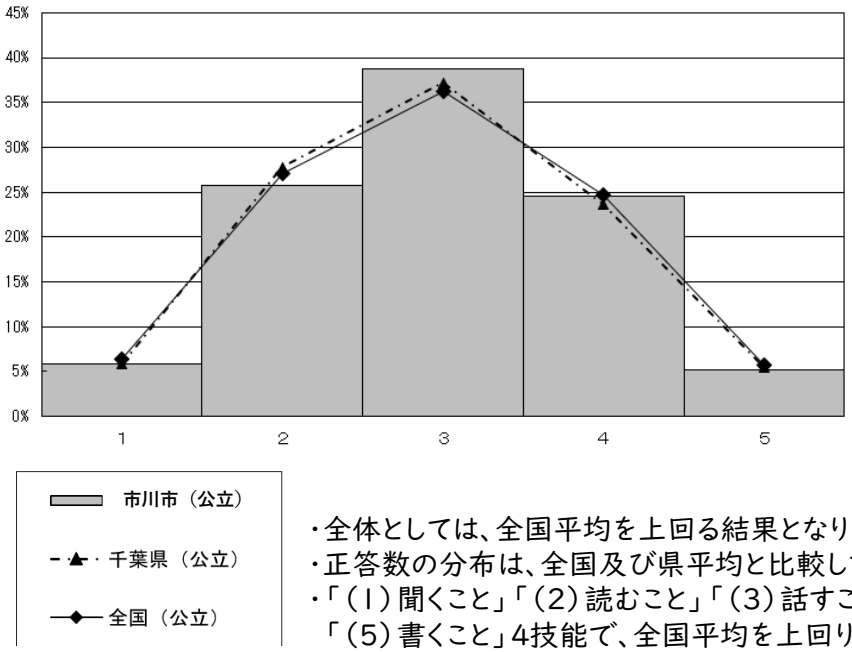
【IRTスコア】

市川市	千葉県	全国
501	499	499



【正答数分布グラフ】

IRTバンド分布グラフ（横軸：IRTバンド　縦軸：割合）



・全体としては、全国平均を上回る結果となりました。
・正答数の分布は、全国及び県平均と比較して中間層が多い結果となりました。
・「(1) 聞くこと」「(2) 読むこと」「(3) 話すこと［やり取り］」「(5) 書くこと」4技能で、全国平均を上回りましたが、「(4) 話すこと［発表］」は全国平均を下回りました。
・「英語3技能」では、記述式、短答式、選択式の問題で、全国平均を上回りましたが、「英語話すこと」では、記述式（口述式）は全国平均を下回りました。

【生徒質問調査】

＜学習に対する興味・関心や授業の理解度等＞

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合（%）

中学校 英語	市川市	千葉県	全国
英語の勉強は得意ですか	45.4	43.4	39.5
英語の勉強は好きですか	54.8	53.3	51.2

「英語の勉強は得意ですか」について肯定的な回答をした市川市の生徒の割合は、全国及び県平均を大きく上回りました。また、「英語の勉強は好きですか」について肯定的な回答をした市川市の生徒の割合も全国及び県平均を上回りしました。日常生活や身近な話題などから生徒が興味を持って取り組める授業づくりが大切です。

＜授業の進め方等＞

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合（%）

中学校 英語	市川市	千葉県	全国
1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていましたか	74.2	80.6	82.8

「聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われましたか」について肯定的な回答をした市川市の生徒の割合は、全国平均を大きく下回りました。「クラスメイトに自分の意見を伝える」「ALTに地域の魅力を紹介する」など、伝える対象や目的を明確にすることで、「書くこと」への意欲を高めます。また、「書くこと」を、文法や語彙を復習するための英作文として取り組むのではなく、「聞いたり読んだり」した上で、その内容に対する自分の考えや感想などをメモし、始めから完成度の高い英文を求めず、キーワードの整理、ペアワークでの取組から、要約文や意見文など段階的に取り組む活動が考えられます。

10 児童生徒質問調査の主な結果について

【小学校】

全国平均と比べ、肯定的な回答の割合が高かった質問 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合（%）

	市川市	全国
あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）101冊以上	35.5	30.7
あなたは自分がインターネットを使って情報を収集することができると思いますか	85.0	84.9
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーションを作成することができると思いますか	76.0	74.6

全国平均と比べ、肯定的な回答の割合が低かった質問 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合（%）

	市川市	全国
分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	75.1	79.4
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか	76.3	79.1
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか	65.4	69.5
5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	66.2	66.4
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	74.5	77.6
5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	71.5	73.4
学習した内容について、分かった点や、よく分からない点を見直し、次の学習につなげることができていますか	74.0	78.4
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	77.9	79.9
総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどのICT機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか	77.8	79.7

ICTを活用した学習状況に関わる質問において、「プレゼンテーションを作成することができること」について、肯定的な回答をした市川市の児童の割合は全国平均を上回りましたが、「文章を考えて作成したり、うまく情報を集めたり、発表したりすること」については、全国平均を下回りました。このことから、ICTを活用して資料を作成する力が身についている一方で、文章などにまとめたり、収集した情報を整理したり、相手にわかりやすく伝えたりすることに課題があることが考えられます。各教科において、ICT活用だけでなく、情報を整理したり、比較したり、関連づけたりしながら、自分の考えをまとめ、表現する学習活動を充実させることが大切です。

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況については、「学習した内容について、分かった点や、よく分からない点を見直し、次の学習につなげることができるか」について、肯定的な回答をした市川市の児童の割合は全国平均を下回りました。学習したことを振り返り、自分がどこまで理解できているのか、理解できていないところはどこかを把握することは、その後の学習を進めていく上で大切なことです。児童が「何が分かったか」「何がまだ分からないか」「次にどのように学ぶか」を自ら捉え、次の学習につなげることができるよう、振り返りを生かした授業づくりを進めていく必要があります。

【中学校】

全国平均と比べ、肯定的な回答の割合が高かった質問 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合（%）

	市川市	全国
あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（一般の雑誌、新聞、教科書は除く）101冊以上	34.8	31.2

全国平均と比べ、肯定的な回答の割合が低かった質問 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合（%）

	市川市	全国
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	74.7	78.2
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか	78.2	84.8
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器と使って学校での活動でプレゼンテーションを作成することができると思いますか	78.4	80.0
1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	61.0	65.5
1、2年生の時に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	74.3	78.8
1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	64.2	70.8
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	73.9	79.0
総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどのICT機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか	75.7	81.7

ICTを活用した学習状況に関わる質問において、「ICT機器で文章を作成すること」「ICT機器を使ってプレゼンテーションを作成すること」「総合的な学習の時間にICT機器を使って情報を集めたり、整理したり、発表したりすること」について、肯定的な回答をした市川市の生徒の割合は、全国平均を下回りました。各教科等において、目的に応じてICTを活用して必要な情報を集めたり、整理したりしながら、自分の考えを文章や資料にまとめ、表現することができるような学習活動を充実させる必要があります。

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況については、市川市では「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫できるか」「自分で考え、自分から取り組めたか」「学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていたか」についても全国平均と比べ低い傾向がありました。さらに、「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげること」についても全国平均を下回っています。生徒がこれまでに学んだ知識を生かして自分の考えを表現するとともに、学習を振り返る中で、自分の理解や課題に気づき、次の学習へつなげていけるような授業づくりを進めていくことが大切です。

１１　学校質問調査の主な結果について

【小学校】

全国平均と比べ、肯定的な回答の割合が高かった質問　「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合（%）

	市川市	全国
調査対象学年の児童は、礼儀正しいと思いますか	87.2	85.4
調査対象学年の児童は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	89.7	87.8

全国平均と比べ、肯定的な回答の割合が低かった質問　「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合（%）

	市川市	全国
調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか	84.6	88.9
調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	76.9	83.9
調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	84.6	88.1
調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	74.3	78.9

生徒指導等に関わる質問において、「礼儀正しい」について肯定的な回答をした市川市の小学校の割合は、全国平均を上回りました。一方、「熱意をもって勉強している」「授業中の私語が少なく、落ち着いている」については、全国平均を下回りました。児童が落ち着いた環境の中で学習に取り組み、学ぶ意義や楽しさを実感できるよう、一人一人が見通しをもって主体的に学習に取り組める授業づくりを進めることが大切です。

また、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況では、「学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えること」について、肯定的な回答をした市川市の小学校の割合は、全国平均を上回りました。一方、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むこと」や「自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発言や発表を行うこと」については、全国平均を下回りました。話し合いを通して考えを伝え合う対話的な活動や、児童が自ら問いをもち、学習の見通しをもって課題解決に取り組む主体的な学習をより一層進めるとともに、自分の考えを整理し、相手に分かりやすく表現できる授業づくりを行っていく必要があります。

【中学校】

全国平均と比べ、肯定的な回答の割合が高かった質問 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合（%）

	市川市	全国
調査対象学年の生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか	92.8	85.1
調査対象学年の生徒は、礼儀正しいと思いますか	100.0	90.4
調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	100.0	87.2
調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	100.0	89.4
調査対象学年の生徒は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組めていると思いますか	100.0	94.9

全国平均と比べ、肯定的な回答の割合が低かった質問 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合（%）

	市川市	全国
調査対象学年の生徒は、授業中の私語がなく、落ち着いていると思いますか	85.7	90.7
調査対象学年の生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	71.4	81.4

市川市は、生徒指導等に関わる質問において、「熱意をもって勉強している」「礼儀正しい」について肯定的な回答をした中学校の割合が、全国より高い結果となっています。一方、「授業中の私語が少なく、落ち着いている」については、全国より低い結果となっています。これらの結果から、生徒が意欲をもって学習に取り組む姿勢が見られる一方、落ち着いて学習に取り組むことができる環境づくりについては、引き続き取り組んでいく必要があると考えます。

また、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況では、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むこと」「学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えること」「友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組むこと」について、肯定的な回答をした中学校の割合が全国より高い結果となりました。課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、他者と考えを伝え合いながら協働的に学んだりする授業改善が進んでいると考えられます。一方、「自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うこと」については、全国より低い結果となっています。今後は、自分の考えをもつことや伝え合うことに加え、相手や目的を意識し、根拠を明確にしたり、資料や文章、話の組立てを工夫したりしながら、自分の考えをより分かりやすく表現する力を育成する授業づくりを一層進めていく必要があると考えられます。

12 課題が見られた主な設問（小学校）

【小学校国語】

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと【言葉の特徴や使い方に関する事項】

2

〔記述式〕　〈平均正答率〉市川市　79.0　全国 80.0
〈無回答率〉　市川市　4.6　全国　4.1

暑いときは、そでがアみじかい方がすずしいのではないか。

【課題改善のポイント】

へんとつくりの左右の配置を逆にして解答している児童のほか、同じ部分をもつ「知」と解答している児童や、「細」などと解答している児童が見られました。

漢字を正しく使うことについては、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うようにし、また書く際には漢字のもつ意味を考えて使う習慣が身に付くようにすることが重要です。へんやつくりなど漢字の構成など漢字の形から意味を想像する活動を通して、漢字の表意文字としての特徴やそのよさに気付けるようにするなど、字形に対する意識を高めることが効果的です。

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること【書くこと】

3

〔記述式〕　〈平均正答率〉市川市　75.2　全国　76.4
〈無回答率〉　市川市　16.6　全国　15.6

林さんは、【文章】を読んで、自分の考えをまとめるために、同じ文章を読んだ小川さんと話し合うことにしました。次の【話し合いの様子の一部】をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

林さん　私は「【苦手】と【嫌い】」という題名の文章が心に残ったんだ。この文章の中の（――― 部アを示しながら）ここの部分が特に考えさせられたんだ。

小川さん　どんなことを考えたの。

林さん　ここの部分のあとにいろいろな事例が出てくるでしょ。これらの事例を読んだら、自分にも同じようなことがあると、はっとしたんだ。例えば、自分に置きかえるとＩＩＩＩＩＩＩＩＩＩということがあるよ。

小川さん　なるほど。文章と自分の経験を結び付けて考えたんだね。

林さん　そうなんだ。この文章を読んで、これまでの自分にはない考えだったけれど、なるほどと思ったよ。小川さんは、どんなことを考えたの。

小川さん　ぼくは、この文章を読んで、筆者が書いていることと少しちがうことを考えたんだ。「苦手だからどうしても嫌い」ということもあるだろうし、「得意だけど嫌い」ということもあるんじゃないかなと思うんだけど、どう思う。

～（話し合いが続く）～

(2) 林さんは、小川さんと話し合ったことをもとに、改めて【文章】を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめることにしました。あなたなら、【文章】を読んで考えたことをどのようにまとめますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉
○ 【文章】を読んで、考えたことを書くこと。
○ 【文章】から言葉や文を取り上げて書くこと。
○ あなたの経験を書くこと。

【課題改善のポイント】

文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめるという意識はあるものの、自分の経験を想起できなかった児童や、文章を読んで理解したことと自分の考えや経験を結び付けることができなかった児童がいたと考えられます。

文章を読んで理解したことと既有の知識や経験などとを結び付けて考えるためには、自分の経験を想起する視点や様々な具体的な経験を共有することが手立てとして考えられます。また、分かったことを整理するよう指導したり、友達と説明し合う場を設けたりすることで、筆者が文章で取り上げている内容の中心となる事柄や、筆者の考えの中心となる事柄に着目できるようにすることも有効です。

【小学校算数】

数を四捨五入して、概数で表すことができるようにすること

〔選択式〕　〈平均正答率〉市川市66.0　全国66.5
〈無回答率〉　市川市 1.2　全国 1.0

2　ことねさんは、ある動物園について調べています。

(1)　先月の入園者数は74291人でした。

74291を、千の位までのがい数で表します。百の位の数を四捨五入してできる数を、下の**ア**から**エ**までの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

ア　70000

イ　74000

ウ　74300

エ　75000

【課題改善のポイント】

見通しを持ち、四捨五入を用いて概数で表すことができるようにすることが重要です。、概数を実感的に捉えられるように、数直線を用いて数を四捨五入して概数で表す活動が考えられます。

「74000」と「75000」のいずれかになるという見通しを持ち、どの位を四捨五入すればよいのかを理解できるようにすることが大切です。そして、四捨五入して千の位までの概数で表した過程を振り返ることで、ある単位未満のところを処理する場合には、その単位の一つ下の位の数が4以下であるときには切り捨て、5以上であるときには切り上げることに気付くことができるようにすることが重要です。

集計に当たって誤りがないかを確かめ、誤りの有無の根拠を、表やグラフなどを基に説明できるようにすること

〔記述式〕　〈平均正答率〉市川市54.3　全国56.2
〈無回答率〉　市川市 3.9　全国 3.7

4　6年生のさくらさんたちは、1年生と仲良くなるために交流会を計画しています。交流会では6年生と1年生がいっしょに、ボール遊び、おにごっこ、昔遊びをします。

(1)　1年生の各学級の人数は、下の**表1**のとおりです。

表1　1年生の各学級の人数　（人）

学級	1組	2組	3組	合計
人数	29	30	28	87

さくらさんたちは、1年生にアンケートをとり、どの遊びに参加するかを1つ選んでもらいました。

さくら：アンケートは1年生全員から集め、無回答はありませんでした。

下の**表2**は、集めたアンケートを整理したものです。

表2　1年生が選んだ遊び　（人）

遊び＼学級	1組	2組	3組	合計
ボール遊び	9	14	8	31
おにごっこ	8	7	10	25
昔遊び	12	6	10	28
合計	29	27	28	84

えいた：1年生全員からアンケートを集めたのに、**表2**には、全員分のアンケートが整理されていないのではないでしょうか。

さくら：全員分のアンケートが整理されていない学級があります。

表1と**表2**を見ると、「全員分のアンケートが整理されていない学級」が1つあることがわかります。

「全員分のアンケートが整理されていない学級」は何組ですか。その学級を書きましょう。

また、そのことは、**表1**のどの部分と**表2**のどの部分を比べるとわかりますか。言葉と**表1**と**表2**の［　　］の中の数を使って書きましょう。

【課題改善のポイント】

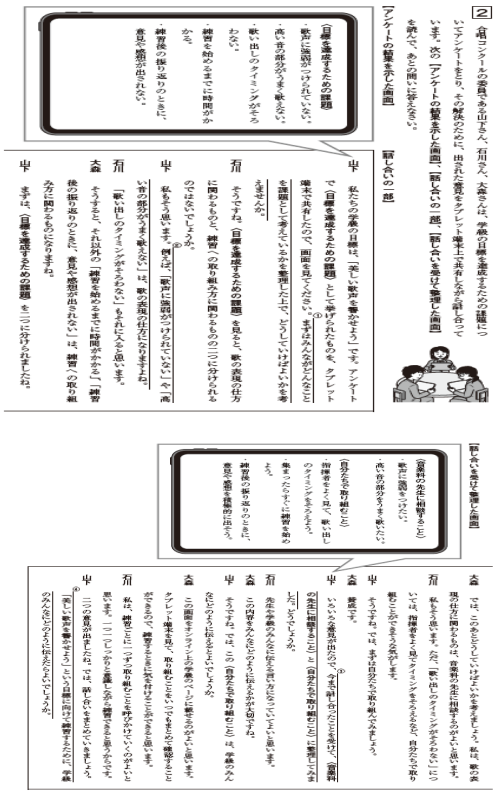
表やグラフを読み取って特徴や傾向を把握する前に、正しく集計できているかを確認し、誤りの有無の根拠を、表やグラフ、集めた資料の数を基に説明できるようにすることが重要です。

説明をする際には、表のどの部分とどの部分を見て判断したのかを指し示したり、表の数値を用いたりし、誤りの有無の根拠を他者に適切に表現できるような活動が有効です。

13 課題が見られた主な設問（中学校）

【中学校国語】

互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること 【話すこと・聞くこと】



四 【話し合いの一部】で山下さんは、――線部④「美しい歌声を響かせよう」という目標に向けて練習するために、学級のみんなにどのように伝えたらよいでしょうか。」と投げかけています。これを受けて、あなたならどのような意見を述べますか。次の条件1と条件2にしたがって、この場の三人に実際に話すように書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 学級のみんなにどのように伝えたらよいかについて、自分の考えと理由を書くこと。

条件2 条件1について、大森さんと石川さんの意見の両方を取り上げながら書くこと。

〔記述式〕 〈平均正答率〉 市川市 49.5 全国 52.7
〈無回答率〉 市川市 16.1 全国 14.7

【課題改善のポイント】

互いの立場や考えを尊重しながら話し合うためには、話合いに参加している者が、それぞれの置かれた立場や意見が出された背景について理解しながら話したり聞いたりすることが重要です。

結論を導くために考えをまとめるとは、異なる立場や考えを前提にしつつも、一定の結論に向かって考えをまとめることです。一方的に自分の考えを主張するのではなく、互いの考えを捉える中で見出した共通点や相違点、新たな提案などを踏まえて、話合いが進展するように、自分の考えが伝わるような発言をすることが大切です。授業では、ICT機器を用いて話し合っている場面を録画し、話合いを振り返る際に活用すると効果的です。

語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えること 【言葉の特徴や使い方に関する事項】

4

ニ 林さんは、――線部「ほうふつとさせる」を正確に理解するために、「ほうふつ」を国語辞典で調べました。次の【国語辞典に載っていた意味】を読むと、6段落に「ほうふつとさせる」と同じような内容を表す別の表現がいくつかあることに気が付きました。【国語辞典に載っていた意味】を参考にして、それらの表現のうちどれか一つを6段落の中から抜き出しなさい。

【国語辞典に載っていた意味】

ほうふつ【彷彿】❶はっきりと脳裏に思い浮かぶこと。よく似ていること。❷おぼろげなさま。はっきりしないさま。

〔短答式〕 〈平均正答率〉 市川市 32.2 全国 35.2
〈無回答率〉 市川市 21.3 全国 19.8

【課題改善のポイント】

本問において、「ほうふつとさせる」という別の表現として「ありありと」「包括的に」「イメージ」など、「ほうふつとさせる」という語句の意味の一部を捉えるにとどまった解答が多く見られました。

語句の文脈上の意味を捉えることの指導に当たっては、まず、語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈における意味を具体的かつ個性的に捉えることが大切です。また、語句に着目し、その語句が文や段落においてどのような役割を果たしているかを捉え、その語句と文章中の他の語句との関係を考えることも重要です。

そのため、学習において辞書を活用して語句の意味や使い方に対する認識を深めることが有効です。

反比例の意味の理解を深めることができるようにすること

〔選択式〕　〈平均正答率〉市川市54.7　全国55.3
〈無回答率〉　市川市 1.3　全国 1.1

4　下の表は、y が x に反比例する関係を表したものです。□ に当てはまる数を求めなさい。

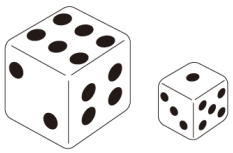
x	…	−3	−2	−1	0	1	2	…
y	…	□	−6	−12		12	6	…

【課題改善のポイント】
反比例の表から二つの数量の変化や対応の特徴を捉えたり、それらの特徴を基に x の値に対応する y の値を求めたりする活動を取り入れ、反比例の意味の理解を深めることが大切です。
単に空欄に当てはまる数を求めるだけでなく、その数である理由を反比例の性質などを基に説明する活動を取り入れることが考えられます。説明をする際には、$y=ax$ という式で表されることや、「x の値が2倍、3倍、・・・になると、y の値が $\frac{1}{2}$ 倍、$\frac{1}{3}$ 倍、・・・になる」や「x と y の積が一定である」といった性質を基にし、反比例について振り返ることが大切です。

樹形図や二次元の表などを利用して起こり得る全ての場合を数え上げ、確率を求めることができるようにすること

〔記述式〕　〈平均正答率〉市川市62.8　全国60.2
〈無回答率〉　市川市 5.6　全国 4.8

5　大小２つのさいころがあります。この２つのさいころを同時に投げるとき、大きいさいころの目が６であり、小さいさいころの目が１である確率を求めなさい。ただし、どちらのさいころも１から６までの目の出方は、同様に確からしいものとします。



【課題改善のポイント】
起こり得る全ての場合を数え上げ、それを基にして確率を求めることができるように指導することが大切です。
起こり得る全ての場合を6通りや 12通りなどとしたり、大きいさいころの目と小さいさいころの目がそれぞれ6と1、1と6の2通りとしたりして、確率を $\frac{1}{6}$ や $\frac{1}{12}$ 、$\frac{1}{18}$ などと求めている場合を取り上げ、起こり得る場合を落ちや重なりがないように数え上げる経験をし、それを説明するなどの活動が考えられます。さらに、二つのさいころに大小の違いが無い場合でも、二つのさいころは区別して、起こり得る場合を数え上げることの必要性を活動や対話的な学びを通して理解できるようにすることも大切です。

【中学校英語】

説明の要点を捉え、話し手が最も伝えたいことを判断すること 【聞くこと】

〔選択式〕 〈平均正答率〉市川市 53.0 全国 55.6
〈無回答率〉 市川市 0.3 全国 0.2

5

<問題文>
あなたは、「住みやすいまちづくり」についての意見交流会で、友達のたけるの話を聞くところです。話を聞いて、たけるが最も伝えたいことを、<解答欄>の1から4までの中から1つ選びなさい。

← 再生ボタンを押してください

【たけるのスピーチ】



<解答欄>

1 Many people from different countries are living in our city.
2 We need to help people from abroad with many different languages.
3 Our city improved the website for people from abroad.
4 People from abroad can get useful information from the website.

【課題改善のポイント】

ここでは、まちの現状、改善のための取組、取組の成果も述べられています。個々の情報を聞き取るだけでなく、話全体を通して何を訴えているかを捉えることが必要です。

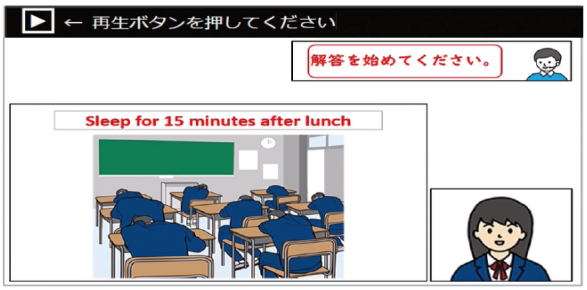
授業では、短い説明を聞いた後、聞き取った情報を「現状」「取組」「成果」などに分け、「結局、話し手は何を伝えたいか」を考えます。発表全体の流れや、表現を変えて繰り返された内容を手掛かりに要点を選び、その選択理由を友だちに説明する活動が考えられます。

聞いた意見を踏まえ、自分の考えを理由とともに伝える 【話すこと(発表)】

〔記述式〕 〈平均正答率〉市川市 20.6 全国 25.8
〈無回答率〉 市川市 24.9 全国 17.0

19

<問題文>
あなたは、英語の授業で、オンライン交流をしている中学生のかおりと「学校生活をよりよくする方法」について話し合っています。発表を聞き、かおりの意見に対する「あなたの考え」と「なぜそう考えるのか」を、英語で答えましょう。【考える時間1分 解答時間30秒】



【課題改善のポイント】

ここでは、昼食後に15分間休むという提案を聞いた上で、賛成・反対などの自分の考えと、その理由の両方を話すことが求められます。考えだけで理由が続かない解答や、無回答が見られました。

授業では、聞いた提案を自分の言葉で確かめ、賛成・反対などの考えと、その理由をキーワードで整理します。伝えたい内容に合う既習の語句や文を選んでペアで話し、相手に理由が伝わったかを確かめて言い換えます。発話を見取り、提案の理解、理由の発想、英語での表現のどこでつまずいたかに応じて支援することが大切です。